

ILARIA CAPUA

Virologist and Former Italian Politician

LONDON
SPEAKER
BUREAU



国際的に有名なウイルス学者であるイラリアカプア博士の揺るぎない情熱とユニークなトレーニングにより、彼女は2013年から2016年までイタリア議会の議員を務めました。

Draria Ilaria CapuaはDVM、PhDは獣医であり、30年以上にわたり、動物から人間に伝染する疾患の分野で研究グループを率いており、イタリアおよび海外の研究所での流行の可能性があります。この研究はまた、ウイルス学者としての成功したキャリアに転向し、彼女はグローバルリーダーシップの定義を示しました。たとえば、2006年には、インフルエンザAウイルス(H5N1)の最盛期に、パンデミック前準備の一環として、新興ウイルスの遺伝子配列へのオープンアクセスを推進しました。これは現在、エボラ出血熱やCOVID-19などの伝染病の脅威との戦いにおける重要な要素として確立されています。

Topics

- coronavirus
- Government
- Health
- pandemics
- Women

シード誌は2008年に、彼女を「革命的精神」の中で彼女をインフルエンザウイルス研究へのより協調的なアプローチの触媒およびリーダーとして指名し、2014年には臨床微生物学および感染症のためのESCMID Excellence Awardを受賞しました。

イラリア・カプア博士は、2013年に下院議員に選出され、科学 文化 教育委員会の副会長を務めました。議会での彼女の時間の間に、彼女は抗菌薬耐性、伝染病の脅威（エボラ）、および動植物の出現する病原体を含む感染症に関連する議会の決議と改正を作成しました。彼女は後に議会を辞任し、彼女の家族と一緒に米国に引っ越しました。

彼女の経歴の中で、カプア博士は鳥インフルエンザとニューカッスル病に関するいくつかの本を執筆しており、査読付きのジャーナルに220以上の出版物があります。彼女の最新の本は2020年夏に入手可能で、Circular Health Egeaと呼ばれ、人間、動物、惑星がどのように共存すべきかを探ります。

今日Ilaria Capua博士は、学際的なアプローチを通じて統合システムとして健康の進歩を促進するセンターである、フロリダ大学のOne Health Center of Excellenceを率いています。